



みなみたなか

学校標語 「笑顔かがやき 優しさいっぱい」



令和5年 3月15日
練馬区立南田中小学校
校長 原田 知樹

令和4年度 学校関係者評価結果報告について

日頃より、本校の教育活動についてご理解とご協働をいただきまして、誠にありがとうございます。

先日、皆様にご協力いただきました「学校アンケート」の集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

今回の学校アンケートはもちろん、ナンタナ体育学習発表会やナンタナ学芸的発表会の感想やご意見では、コロナ禍で様々な制限がある中でも、自分の力を精一杯発揮している児童の頑張りを認めていただく声や、教育活動を応援して下さる声がたくさん寄せられました。ありがとうございました。お寄せいただいた声を今回の学校評価とともに来年度の教育課程に反映させ、子供たちにとってさらに質の高い教育を展開できるよう、努力を重ねてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

1 実施方法 次の5肢選択による質問紙調査

選択の項目は、以下の通りです。

「A：とても思う」「B：だいたい思う」「C：あまり思わない」「D：まったく思わない」「E：分からない」
児童の質問紙には「E：分からない」の選択肢は設定せずに実施しました。

設問1～9、12は児童・保護者・教職員に、設問10、11、13～20は保護者・教職員に、設問21～26は児童に質問しました。

2 実施時期 令和4年12月

3 回収数 児童：339人 保護者・地域の方：313人 教職員：22人

4 調査の結果、考察

	設問 (集計)	入力区分	選択肢/集計結果 (%)				
			A	B	C	D	E
1	学校生活を楽しく過ごしている。 (学校は楽しい。)		A	B	C	D	E
		児童	49.0	37.5	10.3	3.2	
		保護者	41.9	54.9	1.3	0.3	1.6
		教職員	45.5	54.5	0.0	0.0	0.0
2	返事をしたり、すすんで挨拶したりしている。 (気持ちの良い挨拶や返事ができている。)		A	B	C	D	E
		児童	40.7	47.8	8.3	3.2	
		保護者	16.6	57.5	23.3	1.0	1.6
		教職員	4.5	68.2	27.3	0.0	0.0
3	できるようになったことや好きになったことがある。		A	B	C	D	E
		児童	50.4	35.1	10.0	4.4	
		保護者	39.6	53.7	5.1	0.0	1.6
		教職員	63.6	36.4	0.0	0.0	0.0
4	基礎学力が身に付いている。(読み書き計算等) (授業がよく分かり、学習したことが身に付いている。)		A	B	C	D	E
		児童	42.5	45.7	9.1	2.7	
		保護者	23.6	65.8	9.6	0.0	1.0
		教職員	0.0	90.9	9.1	0.0	0.0
5	自ら学習する力が身に付いている。 (分からないことや、もっと知りたいことを、自分で調べる力が身に付いている。)		A	B	C	D	E
		児童	32.4	41.9	19.2	6.5	
		保護者	14.1	53.3	28.1	3.5	1.0
		教職員	0.0	68.2	31.8	0.0	0.0

6	給食を好き嫌いなく食べている。 (給食を残さず食べている。)		A	B	C	D	E
		児童	56.3	25.1	11.8	6.8	
		保護者	28.4	43.5	21.4	6.1	0.6
		教職員	0.0	63.6	36.4	0.0	0.0
7	自分の考えをきちんと言うことができる。 (自分の思いや考えをきちんと話せている。)		A	B	C	D	E
		児童	34.5	38.6	20.9	5.9	
		保護者	16.6	59.1	22.7	1.3	0.3
		教職員	0.0	68.2	31.8	0.0	0.0
8	社会のルールやマナーを守って生活をしている。 (きまりやマナーを守って生活できている。)		A	B	C	D	E
		児童	42.5	45.7	9.1	2.7	
		保護者	28.8	65.8	5.1	0.0	0.3
		教職員	18.2	77.3	4.5	0.0	0.0
9	言葉遣いや相手を尊重した態度をとるように気を付けている。 (言葉遣いに気を付け、誰とでも仲良くできる。)		A	B	C	D	E
		児童	39.2	45.7	12.1	2.9	
		保護者	16.3	61.6	20.8	0.0	1.3
		教職員	0.0	90.9	9.1	0.0	0.0
10	自分の身は自分で守る意識が身に付いている。 (交通事故・不審者・自然災害・情報モラル等)		A	B	C	D	E
		保護者	12.8	70.6	15.0	0.3	1.3
		教職員	9.1	90.9	0.0	0.0	0.0
11	南田中小は、分かるまで勉強したり、調べたりする力を大切にしている。		A	B	C	D	E
		保護者	16.9	62.4	8.9	0.3	11.5
		教職員	4.5	95.5	0.0	0.0	0.0
12	南田中小は、南田中図書館と連携し、読書したり、本で調べたりする活動の充実に努めている。 (すすんで読書をしたり、本で調べたりしている。)		A	B	C	D	E
		児童	43.1	33.9	16.5	6.5	
		保護者	33.9	49.9	7.0	0.3	8.9
		教職員	40.9	59.1	0.0	0.0	0.0
13	南田中小は、個に応じた丁寧な指導がなされている。		A	B	C	D	E
		保護者	26.5	57.7	8.0	0.3	7.3
		教職員	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0
14	南田中小は、近隣の中学校との連携を図る活動に努めている。 (授業公開・シューズバンクプロジェクト等)		A	B	C	D	E
		保護者	23.3	52.4	8.0	0.3	16.0
		教職員	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0
15	南田中小は、健康の増進や体力の向上に積極的に取り組んでいる。 (体育の授業の充実・外遊び・ナンタナ体育学習発表会・感染症予防等)		A	B	C	D	E
		保護者	29.1	53.3	7.7	0.0	9.9
		教職員	45.5	50.0	4.5	0.0	0.0
16	南田中小では、いじめや暴言のない学校にするように努めている。 (ふれあい月間・ナンタナメッセージ・月ごとのいじめアンケート・エールウィーク等)		A	B	C	D	E
		保護者	26.8	58.6	7.3	0.6	6.7
		教職員	95.5	4.5	0.0	0.0	0.0
17	南田中小では、事件や事故防止の対策に努めている。 (保護者の名札着用・情報モラル講習会・セーフティ教室・SNS家庭ルール策定等)		A	B	C	D	E
		保護者	22.7	69.3	3.2	0.0	4.8
		教職員	63.6	36.4	0.0	0.0	0.0

18	南田中小は、家庭や地域と連携した活動をすすんで行っている。(Manabi ポケット・生活リズムチェック・地域未来塾・地域の人材を生かした授業・道徳ノート等)		A	B	C	D	E
		保護者	22.0	59.5	7.0	0.3	11.2
19	南田中小は、学校公開、学校(学年)便りや学校ホームページ等を通して、教育活動を積極的に公開している。		A	B	C	D	E
		保護者	40.3	51.0	5.8	0.0	2.9
20	教職員は、児童理解に努め、子供たちの相談に適切に対応している。(心のふれあい相談員・スクールカウンセラーを含む)		A	B	C	D	E
		保護者	30.0	56.9	5.4	0.3	7.3
21	外国の方とふれ合ったり、英語を話したりすることが好きだ。		A	B	C	D	E
		児童	38.5	36.2	17.2	8.0	
22	算数の授業がよく分かる。		A	B	C	D	E
		児童	58.1	32.2	7.7	2.1	
23	体育の授業は、めあてをもって取り組んでいる。		A	B	C	D	E
		児童	55.5	34.5	7.1	2.9	
24	身の回りの整理整頓ができています。		A	B	C	D	E
		児童	38.9	38.1	15.9	7.1	
25	忘れ物に気を付け、宿題や提出物を、期限までに出している。		A	B	C	D	E
		児童	39.2	39.8	14.2	6.8	
26	先生や相談室の先生など学校に相談できる大人の人がある。		A	B	C	D	E
		児童	45.1	32.7	12.1	10.0	

設問1について

- 児童の85%以上、保護者の方の95%以上が肯定的な回答をしています。保護者の方の肯定的な回答は、昨年度と同じく高い数値でした。また、嬉しいことに、児童のポイントが昨年度よりも増加しています。これは、新型コロナウイルス感染症予防対策に努めながら児童同士の様々な交流ができたこと、また、これまで中止や縮小をせざるをえなかった行事を行うことができたことなども、一因ではないかと考えています。来年度も、様々な行事等、学校生活全体を通して、児童一人一人が学校生活を楽しみながら学びを深めていけるような教育活動に励んでまいります。

設問2について

- 肯定的な回答をした児童が9割近くいます。この数字も、昨年度に比べると増加しています。「挨拶の飛び交う学校」のキャッチフレーズのもと、定期的に挨拶運動を実施したり、教員も意識をしながら挨拶の大切さを指導し続けたりしてきた結果だと考えます。一方で、保護者の方の否定的な回答が20%以上もあることから、学校の中と外での挨拶の仕方に違いがあるようにも感じます。自由記述欄に、「登校班での挨拶が少ない。」などのご意見があることから、朝の挨拶に課題が残るようです。挨拶は、人と人をつなぐ大事な役割を果たすものであり、「あなたのことを大切にしているよ。」とのメッセージが込められているものです。今後も、挨拶の大切さを子供たちに伝え、気持ちの良い挨拶ができる児童をさらに増やしていきます。

設問5について

○ 児童の20%、保護者の方の30%以上が否定的な回答をしています。「自らすすんで学ぶ」という姿勢については、課題が残るようです。

先行き不透明なこれからの時代を生き抜く子供たちにとって、「自分自身で判断して行動する力」が重要になってきます。その力を身に付けていく上で、小学校で大切にしたいのが「自らすすんで学ぶ」ということです。すすんで学ぶためには「なぜ」「どうして」などの疑問が必要です。そして、その疑問を解決するためには「知識・技能」も重要です。児童の興味・関心をひくような授業づくりをこれまで以上に心がけるとともに、知識を学ぶだけでなく、自分が学んだ知識から問題を解決していく「問題解決型の授業」を多く取り入れることで、「自らすすんで学ぶ力」を育んでいきます。

設問7について

○ 児童の約25%が、「自分の考えを言うこと」が苦手ということが分かります。しかし、昨年度が約30%だったのと比較をすると、5ポイント程改善されています。「自分の考えを言うこと」は、本校の継続した課題であるため、今年度の校内研究のテーマを「一人一人が主体的に取り組み、表現できる児童の育成」とし、児童が自分の考えを表す方法や場を工夫した授業改善に取り組んできました。

考えを表す方法として、ワークシートを用いたり、タブレットを用いたりすることで、自己表現する力が伸びてきていると感じます。また、考えを表す場の工夫として、ペアやグループでの活動を授業で積極的に取り入れることで、自分の考えを述べることの抵抗が減っていると感じます。来年度も引き続き、児童の「自分の考えを言うこと」に対する意欲をさらに高めていきます。

設問9について

○ 児童の15%、保護者の方の20%以上が否定的な回答をしています。また、自由記述でも、子供たちの言葉の乱れをご指摘くださる意見もありました。「言葉の乱れは心の乱れ」という言葉があるように、暴力的な言葉を使うことで、自分自身の心も乱れてくるものです。また、本当は思っていないでも『だるい』『めんどくさい』など、否定的な言葉を使うことで、心まで後ろ向きになっていきます。

学校では、来年度も引き続き、ふれあい月間や道徳の授業をはじめ、あらゆる機会において、言葉の大切さを重点的に指導していきます。言葉は心を映し出す鏡です。保護者の皆様と共に、子供たちの心を豊かに耕していきたいと思えます。引き続き、ご協働をお願いいたします。

5 皆様からのご意見

自由記述欄には、本校の教育活動に対する、応援や励ましの声をたくさんいただくとともに、ご意見やご要望も寄せられました。ありがとうございます。これらの声を聴き、校内でも検討を重ね、今後の本校の教育活動につなげていけるよう努めてまいります。紙面の都合上、主に全体に関わるものを紹介します。同様のご意見は一つにまとめさせていただきました。ご了承ください。

(1) コロナ禍の教育活動について

◇ 子供たちに行事を通してでしかできない成長を大切にしてほしい。

→ 今年度、新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら、子供同士がかかわり合いながら学ぶ活動を増やすなど、これまで制限が強いられてきた教育活動を再開してきました。学校行事においても同様です。しかし、保護者の皆様から見ると、「コロナ禍でももっとできることがあるのではないか。」「感染症対策にそこまで気を配る必要はないのではないか。」とのご意見があるのも承知しております。学校でも、国や東京都、練馬区の方針を受け、検討に検討を重ねながらの判断をしているところであり、その判断を、保護者の皆様にご理解いただいている状況です。次年度も難しい判断に迫られる場面があると思いますが、子供たちの成長、子供たちの笑顔のために教育活動を進めてまいります。

(2) 南田中図書館の利用について

◇ 図書館と繋がっている小学校は少ないので、図書館をもっともっと利用してもらいたい。

→ 本校は、南田中図書館が隣接している、たいへん恵まれた環境にあります。一昨年より、3年生以上の児童が「図書館を使った調べる学習コンクール」に参加しています。また、低学年を中心に、図書の時間に南田中図書館を利用するなど、その立地条件を生かした活動をしています。次年度は、図書館と連携したブックラリーを開催したり、図書委員会の活動内容を見直したりするなど、さらに図書館を活用する場面を増やしていきます。